

公表：2020年（令和2年）2月28日

事業所名：あゆみの家幼児部

		チェック項目	はい	いいえ	その他	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			・可動式の戸があり、活動や集団に応じてスペースの大きさの調整している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	9			・全体の基準を満たした上で、介助必要児には1対1、自立度の高い児には相応で支援している。	・基準は満たしているが、子どもの特性により、屋外活動等で安全配慮の観点では課題と感ずることもある。引き続き支援内容、空間を調整して、危険や心配がないよう支援していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	1	・極力物を置かない、本人の写真を使う等、視覚的にわかりやすくなるよう工夫している。	・子ども各自の荷物を登降園時に出し入れる場所に不明確さがあるので、子どもに合わせた環境設定を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9			・トイレ、マットは毎日清掃消毒している。	・子どもが遊べる環境を更に作っていききたい。 ・引き続き整理整頓を心がける。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	2	・職員会議で協議できるよう心掛けている。	・引き続き、年間目標と振り返りを意識して日々の支援に活かしていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		1	・独自のアンケートも実施し、声を聞く姿勢であり、保護者の意見から改善できるよう努力している。	・引き続き、改善できることは実現できるよう努力する。改善できるよう努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	2	・2018年度から、自己評価、保護者評価をHPで公開した。	・今年度以降も、評価、アンケートを通して得た評価を公開し、改善に努める。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	5		・第三者評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・年に2回の講師を招く研修、適宜外部研修参加に加え、年度後半から1ヵ月1回のOJT研修を実施している。	・引き続き、職員の資質向上に努める。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			・入所時にニーズを把握し、ケース会議で状況に応じて見直しを行いながら支援計画の作成を進めている。	・ニーズや課題把握と客観的分析に努め、個々に応じた支援計画の作成に努める。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	4		・標準化したアセスメントツールを利用し、より客観的に評価、把握できるよう努める。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1			・「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な具体的な支援内容、目標設定になるよう、務める。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	2		・活動（遊び等）を通して支援している。	・支援計画を意識するよう努めている。引き続き、支援計画に対する評価を行うことで必要な支援が適切にできるよう努める。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		・担当職員間で行っている。	・担当職員間（勤務時間が長い職員）で、計画的に詳細まで立案できるよう努める。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			・バランスを考えて工夫している。	・バランスを考え、ニーズに合わせた活動が提供できるよう努める。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		2	・子どもの状況と内容に応じて、集団活動を中心に個別も行っている。	・集団活動と個別活動の使い分けの視点も一層意識した、支援計画作成に努める。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		・出勤時間が異なるので全員一緒に確認することは難しいが、内容や役割分担の確認ができるよう、ボードを活用している。	・引き続き確認に努める。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	3	・退勤時間が異なるので全員一緒に確認することは難しいが、気付きの共有ができるよう、連絡ノート等の活用を行っている。	・引き続き共有に努める。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	3	2	・サービス提供記録(連絡帳)を通して記録している。	・記録が支援の検証、改善につながるよう、務める。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・日々の記録を基に、年に2回(6か月ごと)にモニタリングを行い、個別支援計画を見直している。	・定期的なモニタリングと支援計画の見直しを行い、個々に応じた支援に努める。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	1	・関係者会議が開かれる場合は、そのときの適任者が参加するよう努めている。	・引き続き適任者が参画できるよう努める。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		2	・必要に応じて連携を図っている。	・引き続き、必要に応じて連携する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	-	・(現在は)母子通園で受入を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	・(現在は)母子通園で受入を行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		3	・必要に応じて連携を図っている。	・情報提供が主になりがちなので、相互理解に努める。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		3	・就学前に実施している。	・情報提供が主になりがちなので、相互理解に努める。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	3	・状況に応じて研修会等に参加し、情報交換にも努めている。	・必要に応じて行うよう努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			・保育園との交流保育の機会を作っている。	・希望者に限定されているので、交流の機会が増えるよう検討したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4		5	・地域の子ども子育て会議に参加している。	・参加に努める。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			・連絡帳で日々の子供の様子を伝えあうようにしている。	・連絡帳の他、母子通園時にも共通理解を深めるよう努める。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	4	3	・基礎的理解の面から助言、支援を行い、必要時に相談に乗れるよう心掛けている。	・個々の成長に合わせた支援方法や遊びの助言等、必要に応じて相談に乗れるよう努める。
保	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		1	・入園時に契約書を通して運営内容や利用者負担等について説明している。	・運営規程は訓練室に掲示している。入園時や契約変更時にも丁寧な説明に努める。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	2		・支援計画を示しながら、説明し、同意を得ている。	・ガイドラインも示しながら説明し、同意を得るよう努める。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			・母子通園時等、必要により適宜対応しているよう努めている。・月1回の保護者交流会で悩み等をあげてもらい、他の保護者の経験を聞いたり、助言している。	・適切に必要な助言と支援が提供できるよう努める。

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			・保護者会の開催、交流会を開催し、保護者同士の交流が図れるよう努めている。	・連携につながるよう、まずは交流が図れるよう引き続き支援する。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		1		・相談しやすい雰囲気づくりに努める。相談、申し入れがあった時は迅速かつ適切に対応できるよう努める。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3			・年度始めに年間予定予定表を配布。 ・毎月、早めに保育予定表を配布。変更時はメール連絡を活用している。	・事業所の単独発信の他、法人便りを定期的に配布し、情報発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9					・引き続き、個人情報保護に努める。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				・子どもには写真やカードも利用してコミュニケーションに努めている。	・子どもに合わせたコミュニケーションに努める。保護者とも日頃のコミュニケーションを大切にしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		1		・施設の祭りに地域の方も招いている。 ・ボランティアや実習生を受け入れ、開かれた事業運営に努めている。	・引き続き、交流の機会を提供する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	4				・訓練の実施に努め、必要時に動けるよう努める。保護者も意識できるよう、保護者会での周知にも努める。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	5			・保護者にも参加していただいている。	・訓練の実施に努め、必要時に動けるよう努める。保護者も意識できるよう、保護者会での周知にも努める。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		2		・入園児の面談、問診票で確認している。	・モニタリング時等で、定期的な確認に努める。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	2			・現在、食べ物アレルギーの児はいないが、必要時は医師の指示を確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1			・事例集はないが、報告書は全職員に回覧、周知再発予防に努めている。	・ヒヤリハットから事故に至らないよう、事故予防に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9				・研修会の実施や自己チェック表を活用している。	・法人主催の虐待防止研修会参加と共に、風通しのよい環境作りに努める。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	1		・自他の怪我に繋がる時に、やむを得ず身体拘束を行うことを支援計画時に説明、同意を得て、計画にも記載している。	・現在身体拘束をしている児はいない。適宜説明、同意を得ているが、必要な際は十分な説明を行い、支援計画に記載し、同意を得て行う。